



長岡市

## 中越地震から20年 新潟地震から60年 宮城県気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館元館長 芳賀一郎氏を講師に招き研修講座を開催

長岡市は、市立学校に勤務する教職員の資質・指導力の向上のため、独自に「長岡市教育センター」を設置し、毎年約120に及ぶ研修講座を実施しています。

このたび、そのひとつとして、芳賀一郎<sup>\*</sup>氏（気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館元館長）を講師に迎え、中越地震から20年、新潟地震から60年になる今年、防災教育について教職員が学びます。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださいますよう、よろしくお願いいたします。

### 3. 11 東日本大震災宮城県気仙沼向洋高等学校・奇跡の避難 ～マニュアル通りの避難で本当にいいのか～

- |       |   |
|-------|---|
| 1 日時  | 6月24日（月）午後2時40分～4時40分   |
| 2 会場  | 長岡市立劇場 大ホール（長岡市幸町2丁目1番2号）   |
| 3 講師  | 芳賀 一郎 氏   |
| 4 参加者 | 市立学校教職員など 約120人   |
| 5 内容  | 子どもたちが学校生活を送っている中、もしも大きな地震が起こったらどうするか。マニュアル化された避難訓練の仕方で本当にいいのか。校庭に避難指示を出したが、校庭に大きな地割れができてしまったら…。地震で放送機器が壊れ、放送で指示ができなかったら…。頻繁に大きな地震が起こっている昨今、この研修を通して自然災害から身を守る方法を学びます。教職員の立場でお話をされるので、いざという時、教職員はどうやって子どもたちの安全を確保すればいいのかを学ぶことができます。 |

※ 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館元館長（R6年3月まで館長）

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館の語り部・ガイド・防災士

震災時は宮城県気仙沼向洋高校非常勤講師

震災後の翌年から気仙沼市階上公民館の館長となり、仮設住宅の方や地域の方の健康面のアドバイスなどを行うため、長年の教師生活の知識と合わせて健康管理士の資格を取得し、自ら健康講座などを開催し地域に貢献してきた。また自身の知識の向上のために防災士を取得した。

「震災当時マニュアルは全部その通りじゃなく、自分たちで臨機応変に変えた。防災マップは安全マップでない。災害には上限がないので、避難訓練などで常に意識した行動をしなければだめ」といった防災意識を高めるために宮城県内はもとより全国各地で講演をされている。

問い合わせ：教育センター 研究室室長渡辺

電話 0258-32-3746